区分	臨床・専門分野	授業科目名	化学分析検査学	単位数	1単位
対象学年	2年次	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年	講義形態	(講義)・ 実習
担当教員名	東　秀次	実務経験	(有)・無	実務経験内容	検査センター勤務

授業の目的・目標
体内物質の代謝と機能及び臨床的意義を理解しその測定法・測定原理を学ぶ。
疾患と検査項目、検査値の臨床的意義を理解する。

成績評価の方法
出席状況・定期試験

授業の概要・授業方針
各測定物質の体内代謝と機能の説明。小テスト。

テキスト・参考資料等
臨床化学検査学/医歯薬出版

授業計画	講師
第1回　講義の進め方。データの読み方。	東　秀次
第2回　糖質（測定原理、糖尿病）	東　秀次
第3回　蛋白質（基本と測定原理）	東　秀次
第4回　蛋白質（電気泳動）	東　秀次
第5回　非蛋白性窒素（アンモニア、尿素、クレアチニン）	東　秀次
第6回　非蛋白性窒素（ビリルビン）	東　秀次
第7回　脂質とリポ蛋白	東　秀次
第8回　脂質の測定、脂質異常症	東　秀次
第9回　酵素（AST、ALT、ALP）	東　秀次
第10回　酵素（γ-GTP、LD、CK）	東　秀次
第11回　酵素（AMY、Ch－Est）	東　秀次
第12回　電解質と微量元素	東　秀次
第13回　動脈血液ガス	東　秀次
第14回　ホルモンと機能検査	東　秀次
第15回　治療薬物モニタリング	東　秀次